

屋久島町の観光振興に関する事業者アンケート調査結果

(1) 調査概要

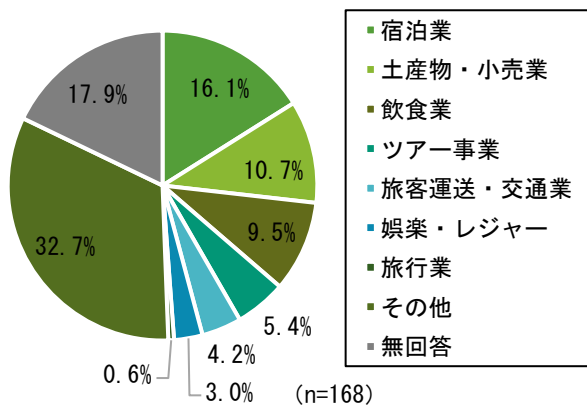
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和6年10月28日（月）～令和6年11月22日（金）
対象	屋久島町商工会及び屋久島観光協会に属する事業者（666事業者）
回答数	168（回収率25.2%）

(2) 調査結果

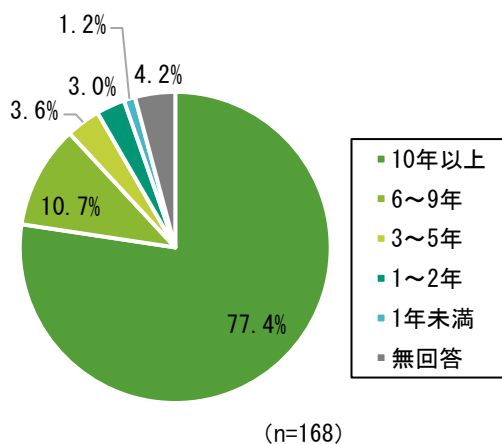
回答者の属性

- ・業種は「宿泊業」が最も多く16.1%、次いで「土産物・小売業」が10.7%、「飲食業」が9.5%となっている。
- ・操業年数は「10年以上」が77.4%、「6～9年」10.7%、「3～5年」3.6%の順に多い。うち、町内での活動は「10年以上」が76.2%、「6～9年」10.7%、「3～5年」4.2%となっている。
- ・事業所立地地域は「安房校区」と「宮浦校区」が28.6%と最も多く、次いで「神山校区」が13.1%、「八幡校区」が7.7%となっている。

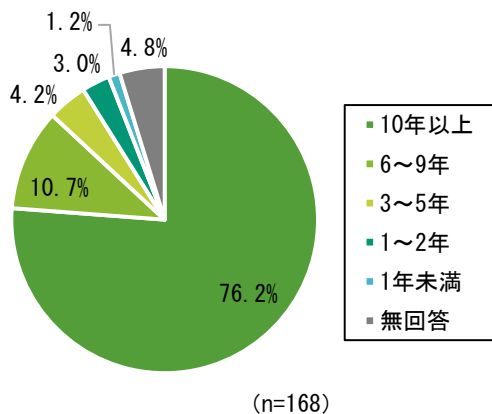
《業種》



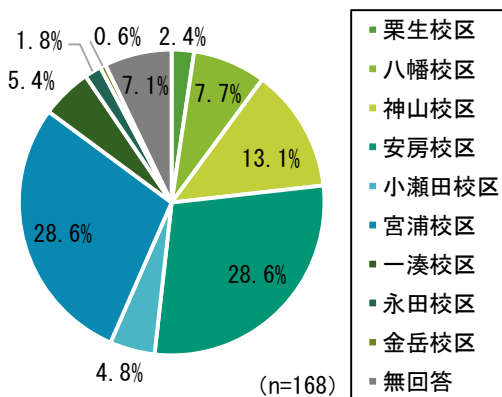
《操業年数》



《うち町内での活動》



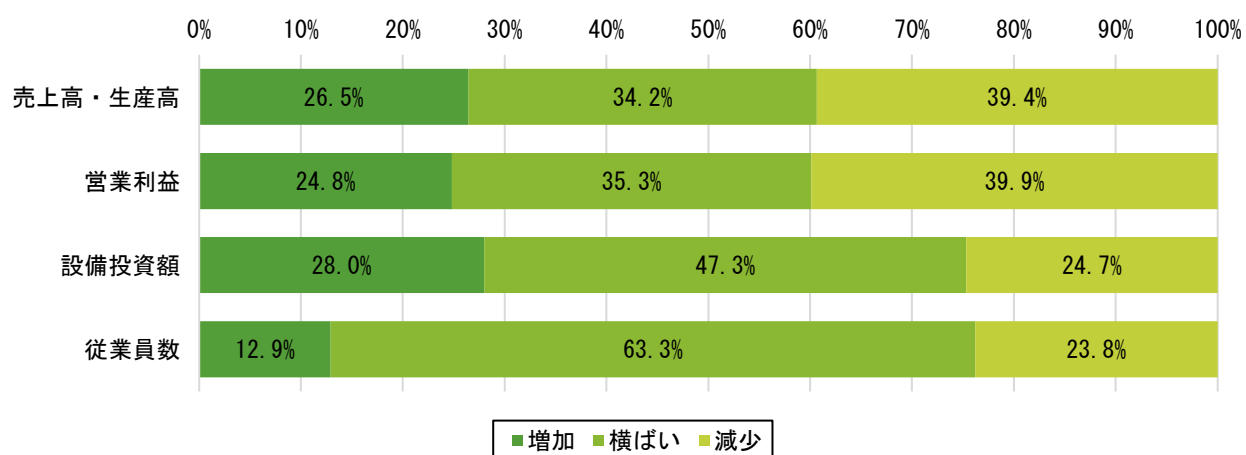
《事業所立地地域》



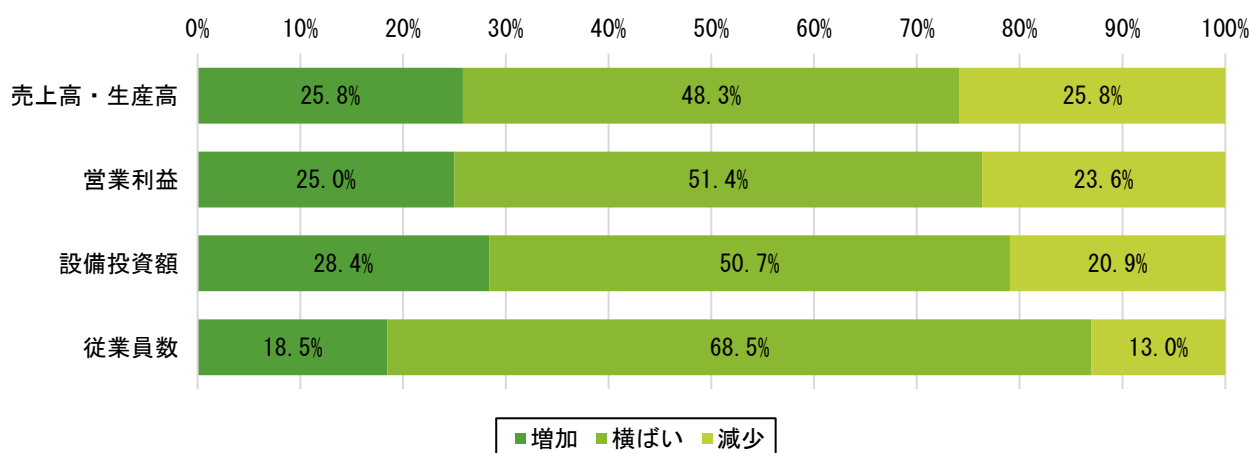
組織の売上高・生産高、営業利益、設備投資額、従業員数

- ・直近３年間に於いて売上高・生産高や営業利益は減少傾向にある事業者がやや多いが、従業員数などはある程度維持できている。
- ・「直近３年間の推移」と「コロナ禍と現在の比較」では、概ね同様の構成比であるが、設備投資額は直近３年間のほうが増加傾向にあった割合がやや高い（事業再構築補助金等を活用したコロナ禍を乗り切るための業容転換等による投資が背景か）。
- ・今後の３年間の見通しでは、全ての項目において約半数の事業者が横ばいを予想している。

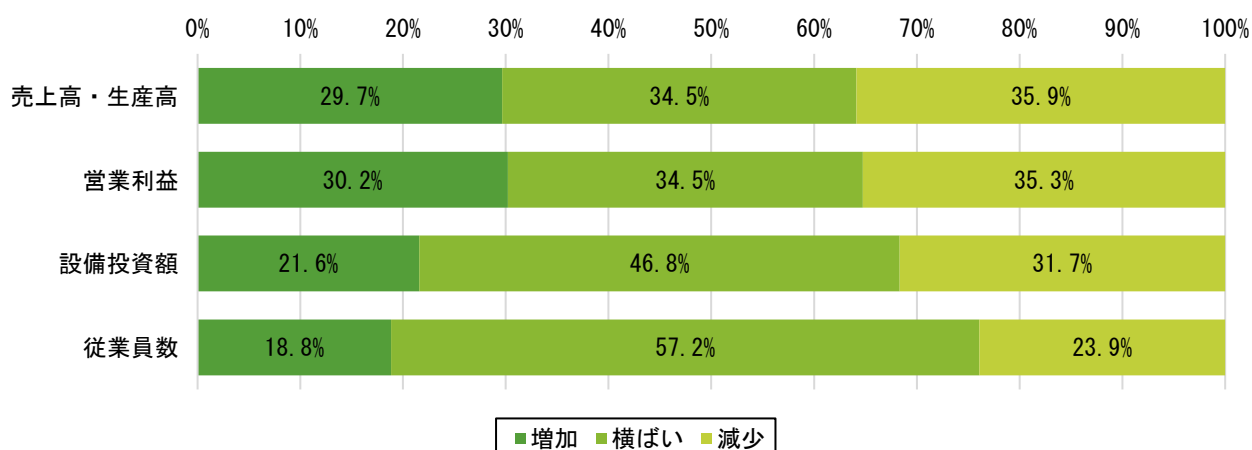
《直近３年間》



《今後３年間の見通し》



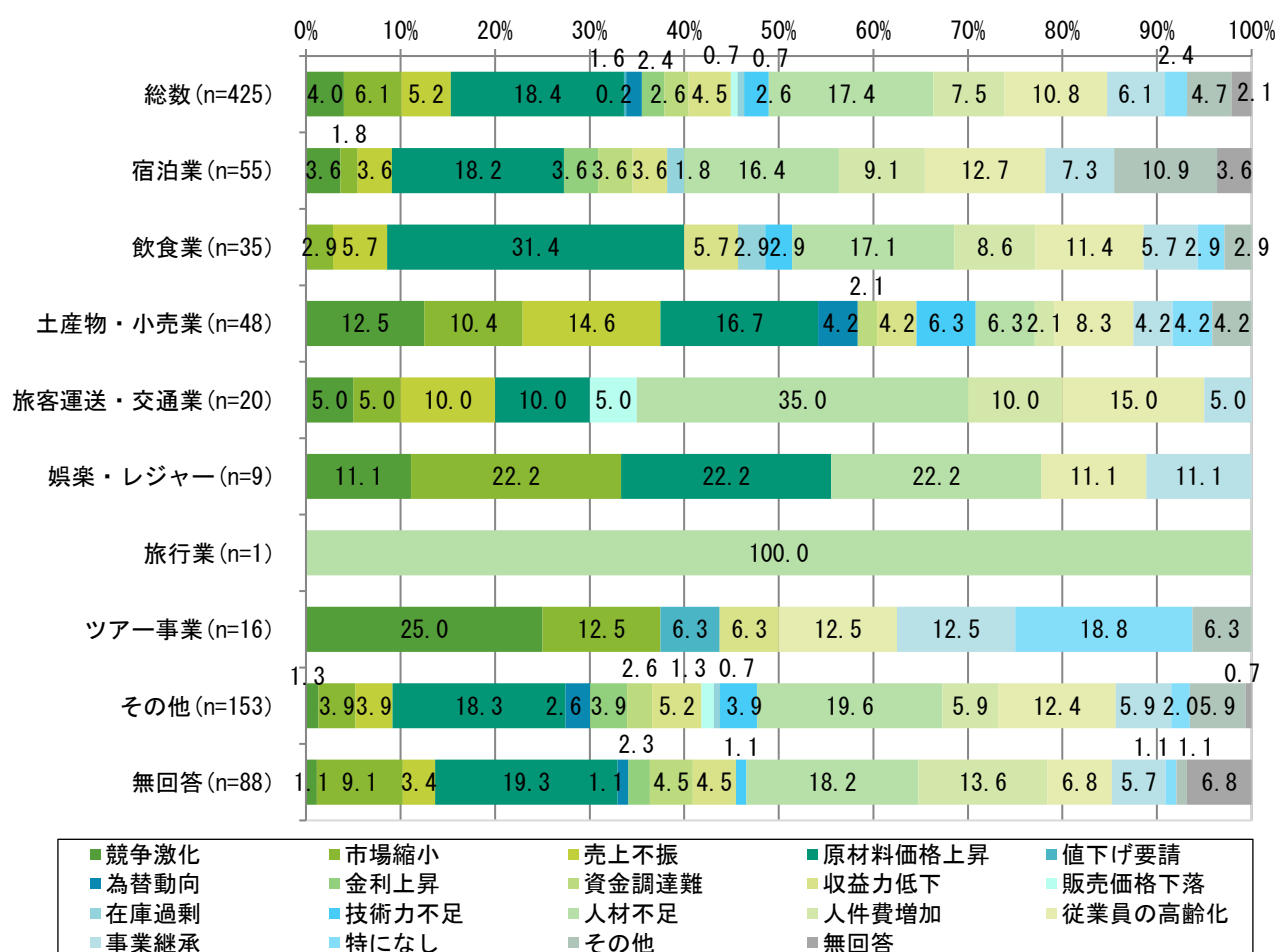
《コロナ禍比》



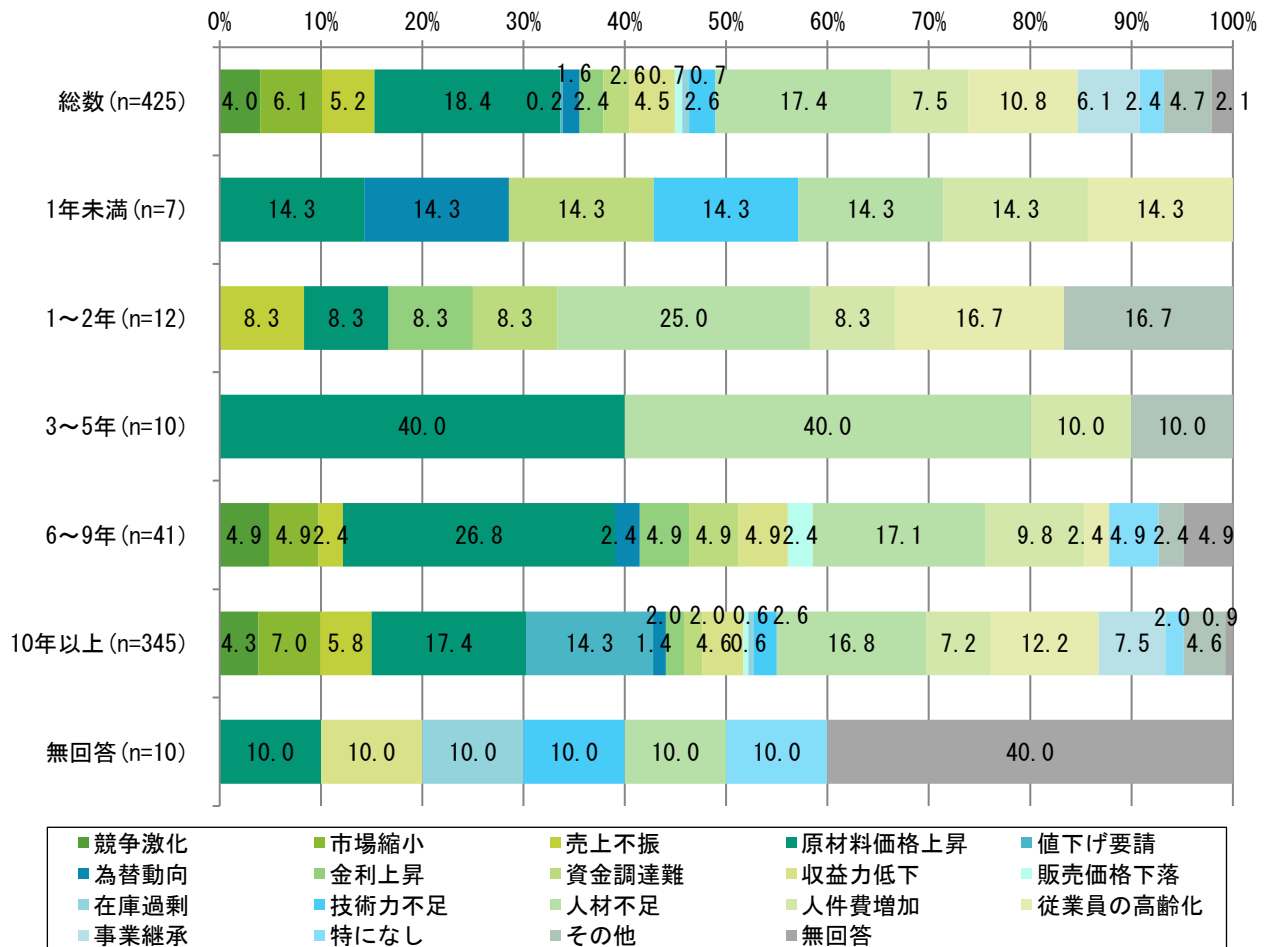
経営上の問題点

- ・経営上の問題点は、「原材料価格上昇」が18.4%と最も高く、次いで「人材不足」が17.4%、「従業員の高齢化」が10.8%となっている。
- ・業種別では、飲食業や土産物・小売業では「原材料価格上昇」、旅客運送・交通業は「人材不足」、ツアー事業は「競争激化」等が特に割合が高い。
- ・操業年数別では、1年未満では資金調達や人材関連の課題が見られる。1～2年では「人材不足」「従業員の高齢化」、3年以上は「原材料価格上昇」「人材不足」が多い傾向となっている。

≪業種別≫



<< 操業年数別 >>



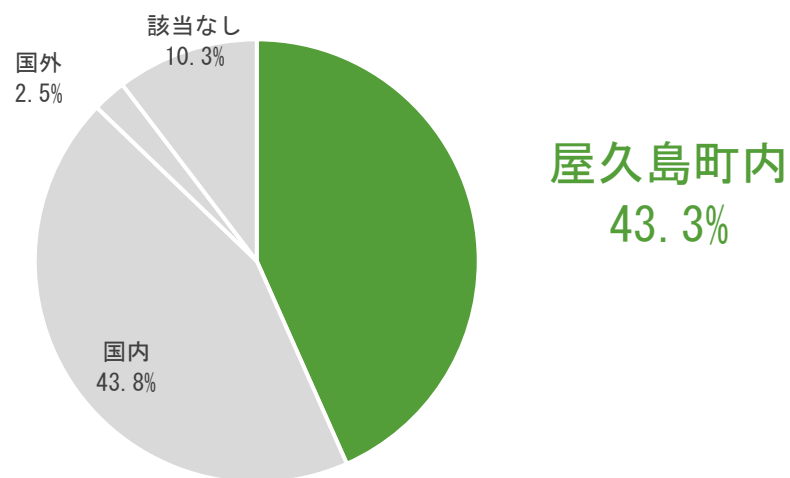
<< その他 >>

・ 顧客減少 ・ ドラッグストアの台頭、お客様の高齢化 ・ 事業主の高齢化 ・ 顧客の高齢化 ・ 経営者の高齢化 ・ 個人の高齢化に付き ・ 二足の草鞋で時間が足りない ・ 設備投資、家賃問題 ・ 設備老朽化 ・ 能力不足 ・ 品質・生産量の安定 ・ パソコン使用が出来ない事	・ 海上運送が脆弱 ・ 荷物発送の件（フェリー） ・ 夜間のお客様の移動手段がないこと。タクシー不足 ・ 立地（北西部への交通の便） ・ 観光閑散期の売上確保 ・ ビジネスモデルの確立 ・ 空港拡張による移転。売り上げが下落したら補償してもらえるのでしょうか？移転先は確保してもらえるのでしょうか？ ・ 台風、線状降水帯などツアーが行えない日が増えています
---	---

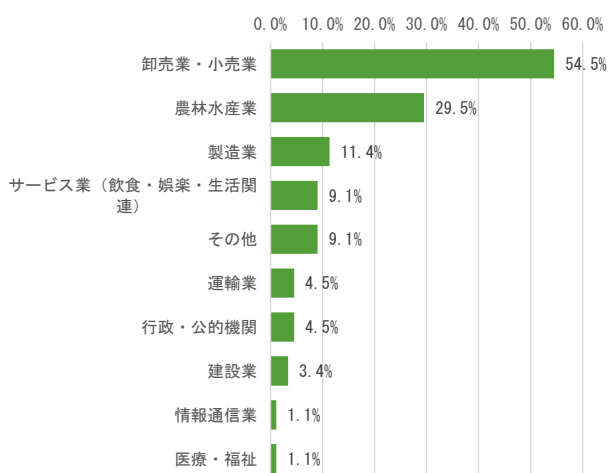
観光客向けの商品・サービスの原材料

- ・本町の観光産業における域内調達率は約 4 割。ほぼ同数が町外からの調達となっている。
- ・本町の観光産業振興により、町内の卸売業・小売業や農林水産業に特に影響を与えることができる。
- ・他方、卸売業・小売業は同程度町外からの調達しており、品目によっては町内では対応できないことが窺える。
- ・製造業などは町内よりも町外調達率が高いことから、町内に十分な企業がなく、町外に依存していることが窺える。

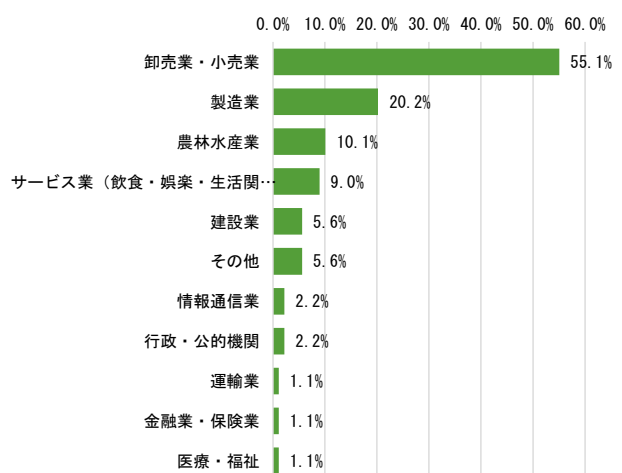
《域内調達率》



《町内の仕入先・発注先業種内訳》



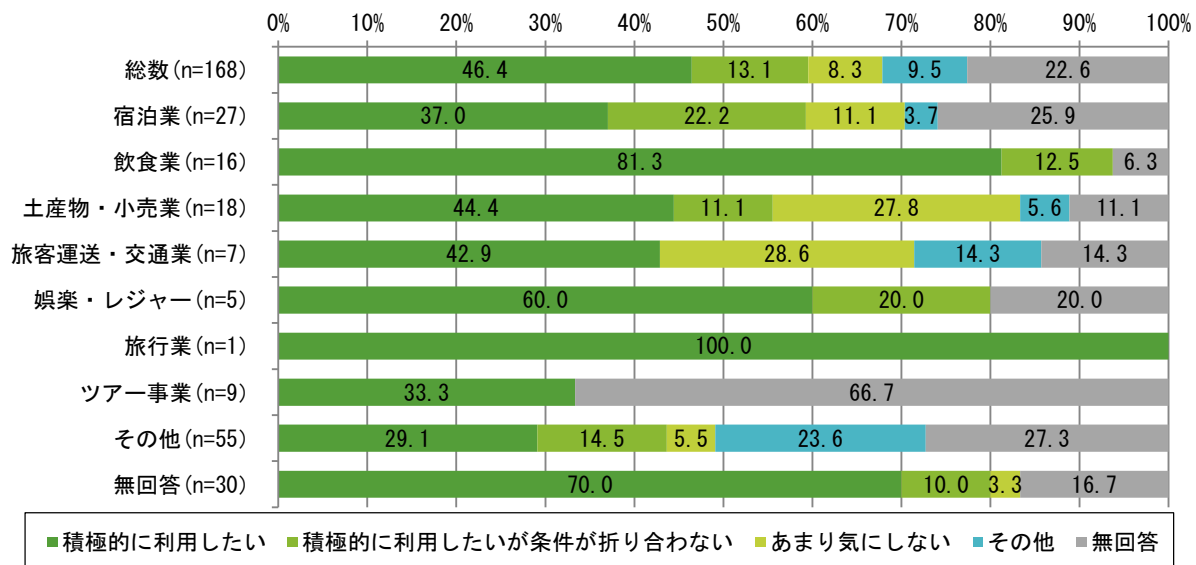
《国内の仕入先・発注先業種内訳》



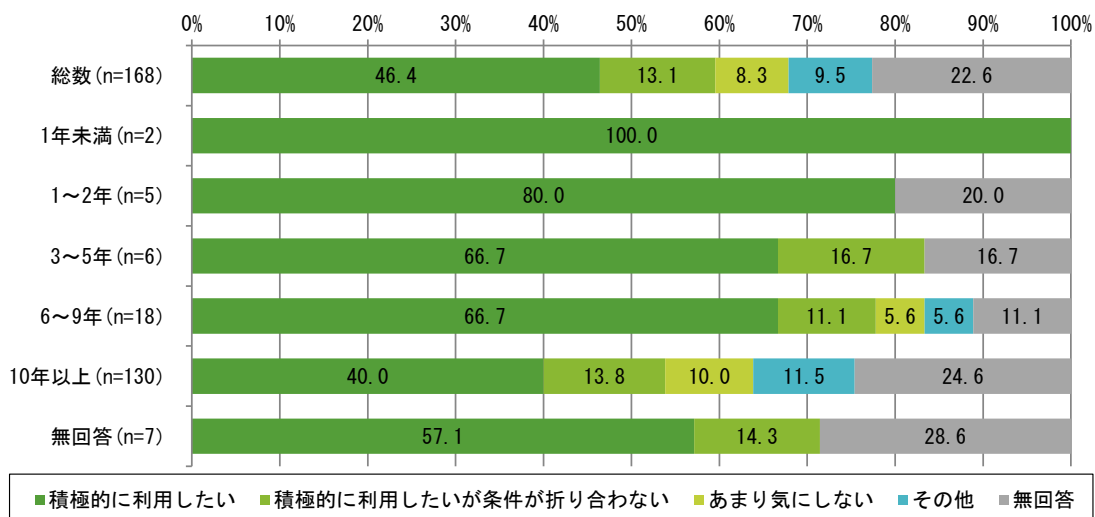
町内産原材料の利用意向

- ・全体としては、「積極的に利用したい」が46.4%と半数近く、次いで「積極的に利用したいが条件が折り合わない」が13.1%となっている。
- ・業種別では、「宿泊業」と「娯楽・レジャー」が他の業種と比較して「積極的に利用したいが条件が折り合わない」の割合が高い。また、「土産物・小売業」と「旅客運送・交通業」は「あまり気にしない」が3割程度となっている。
- ・操業年数別では、年数が長くなるほど「積極的に利用したい」の割合が低くなっている。

《業種別》



《操業年数別》

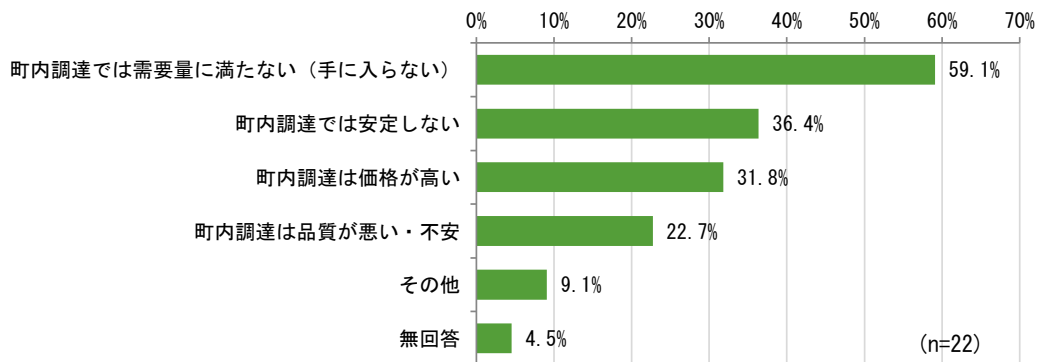


《その他》

- ・対象外
- ・島内では原材料が確保出来ない
- ・仕事に直結する原材料がない
- ・材料店なし
- ・取り扱いがない。適合しない。
- ・すでに利用している（ガジュツ）

条件が合わない理由

- ・「町内調達は需要量に満たない（手に入らない）」が 59.1%と最も多く、次いで「町内調達では安定しない」が 36.4%、「町内調達は価格が高い」が 31.8%となっている。

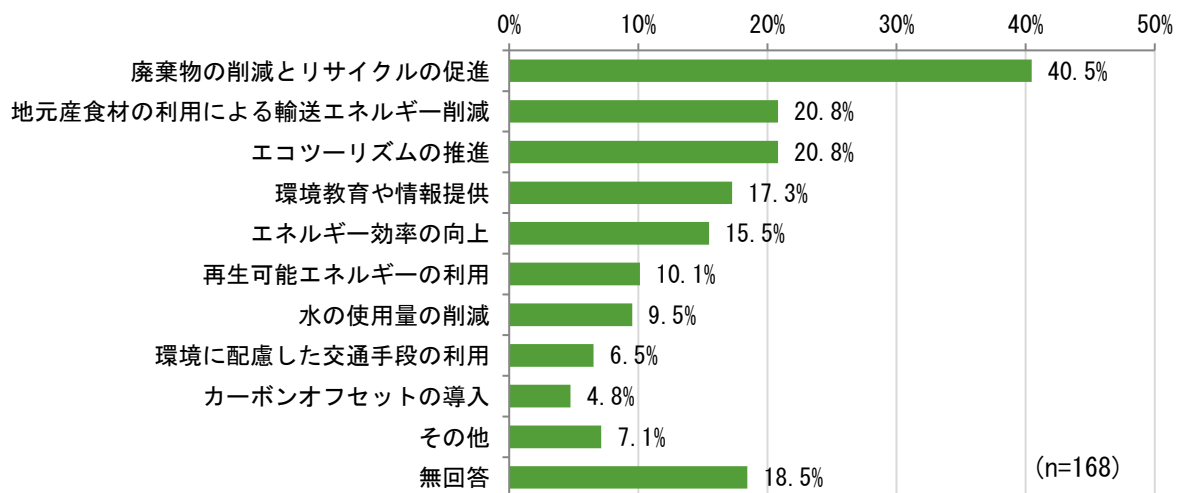


《その他》

- ・ 自社独自で仕入れなど実践している
- ・ 町内調達はできない。町内仕入れ先がない。
- ・ 配達してもらえない

環境負荷の軽減に対する取り組み

- ・「廃棄物の削減とリサイクルの促進」が 40.5%と最も多く、次いで「地元産食材の利用による輸送エネルギー削減」「エコツーリズムの推進」が 20.8%となっている。

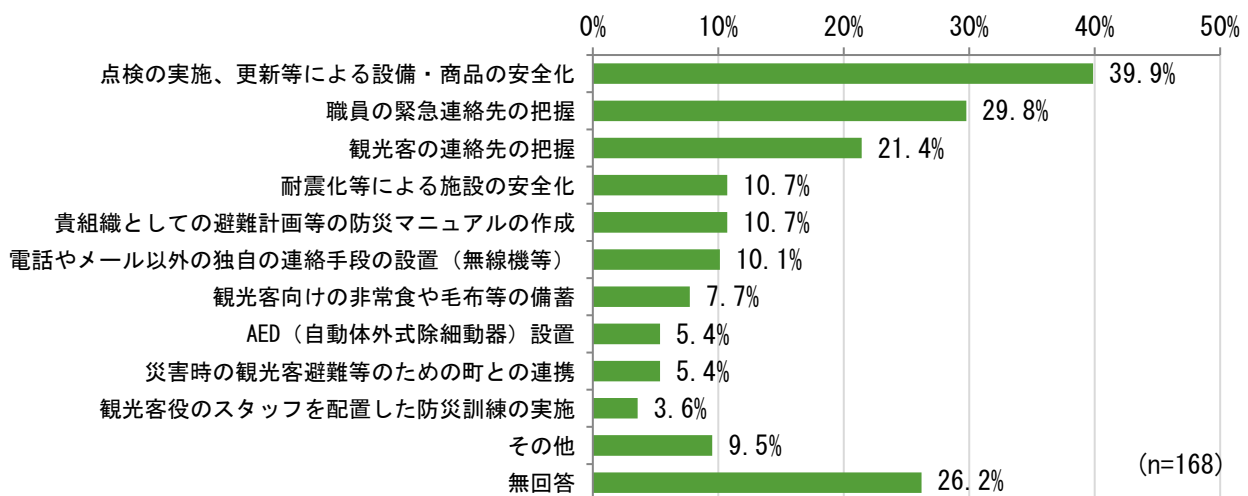


《その他》

- ・ 環境に配慮した商品の取り扱い
- ・ 化学洗剤などの使用削減についてのPRなど
- ・ EVバス導入予定
- ・ 重油燃料のガス化
- ・ 小規模設備導入
- ・ 合併浄化槽にした事で排水やし尿の処理が改善した
- ・ 流域プロジェクトとしてオフグリッドの滞在施設（Sumu）の運営、里山の間伐整備
- ・ 有機栽培

防災に関する取り組み

- ・「点検の実施、更新等による設備・商品の安全化」が 39.9%と最も多く、次いで「職員の緊急連絡先の把握」が 29.8%、「観光客の連絡先の把握」は 21.4%となっている。



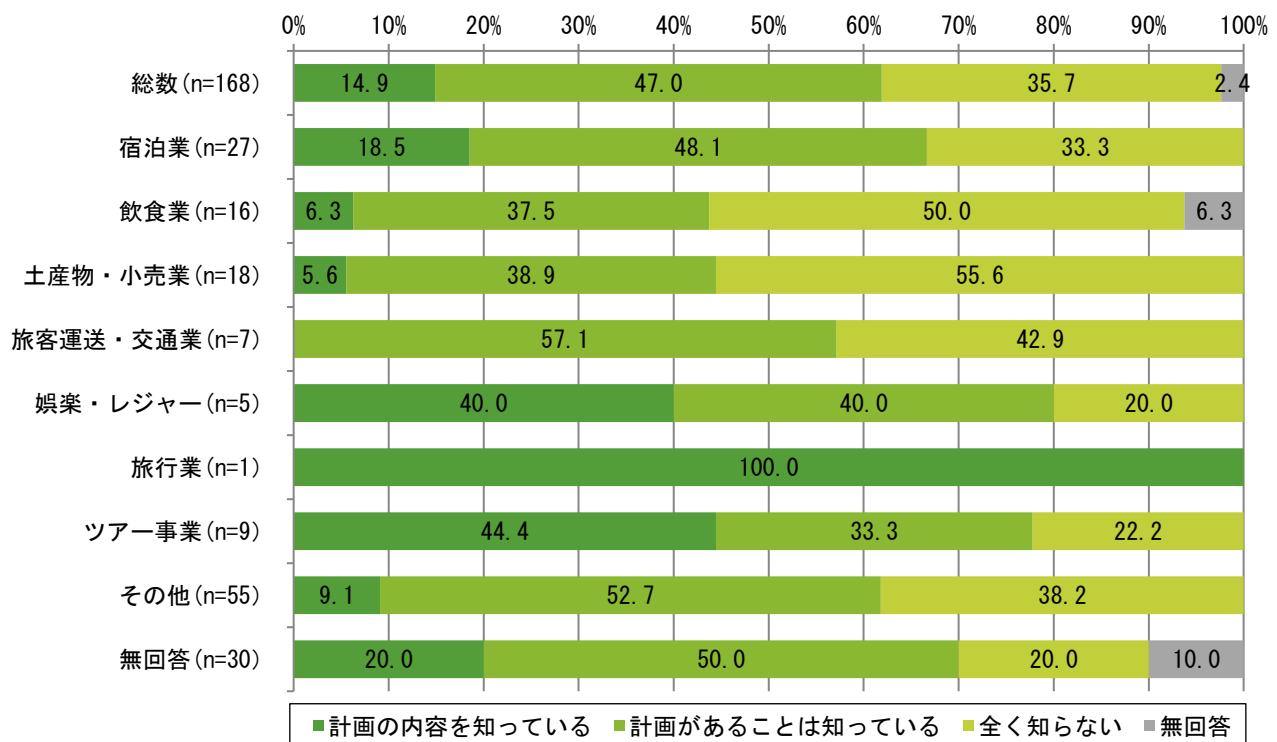
《その他》

- ・ 食料の備蓄
- ・ 南海トラフ地震の準備等は 80%用意しました。逃げるとき（ダンボール、トイレ、10 年持つ飯、おかず（肉じゃが等）、水、ティッシュ、ラジオ、6 年持つ携帯の発電機、懐中電灯等々）
- ・ 不測の事態に備えて、国内旅行傷害保険の加入を勧めている
- ・ 発電機の準備、災害時のガソリン供給
- ・ 野外救命講習等の受講、消防団活動
- ・ 意識向上、イベント参加と情報入手
- ・ 店内にて来店客に向けてハザードマップを掲示
- ・ 危険な場所と噴火が心配されるときは避難の事などを教える

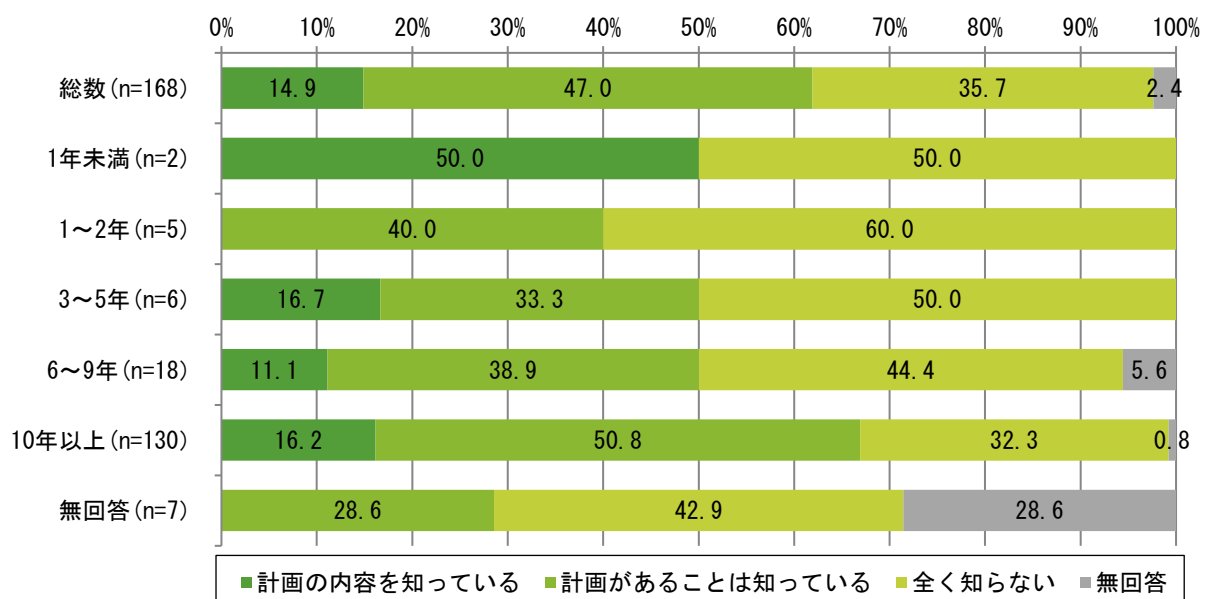
観光基本計画の認知度

- ・全体の観光基本計画の認知度は、「計画の内容を知っている」が14.9%、「計画があることは知っている」が47.0%、「全く知らない」が35.7%となっている。
- ・業種別では、「娯楽・レジャー」「旅行業」「ツアー事業」等の知っている割合が高い傾向にあり、「飲食業」「土産物・小売業」は半数程度が「全く知らない」と回答している。
- ・操業年数別による大きな違いは見られない。

《業種別》



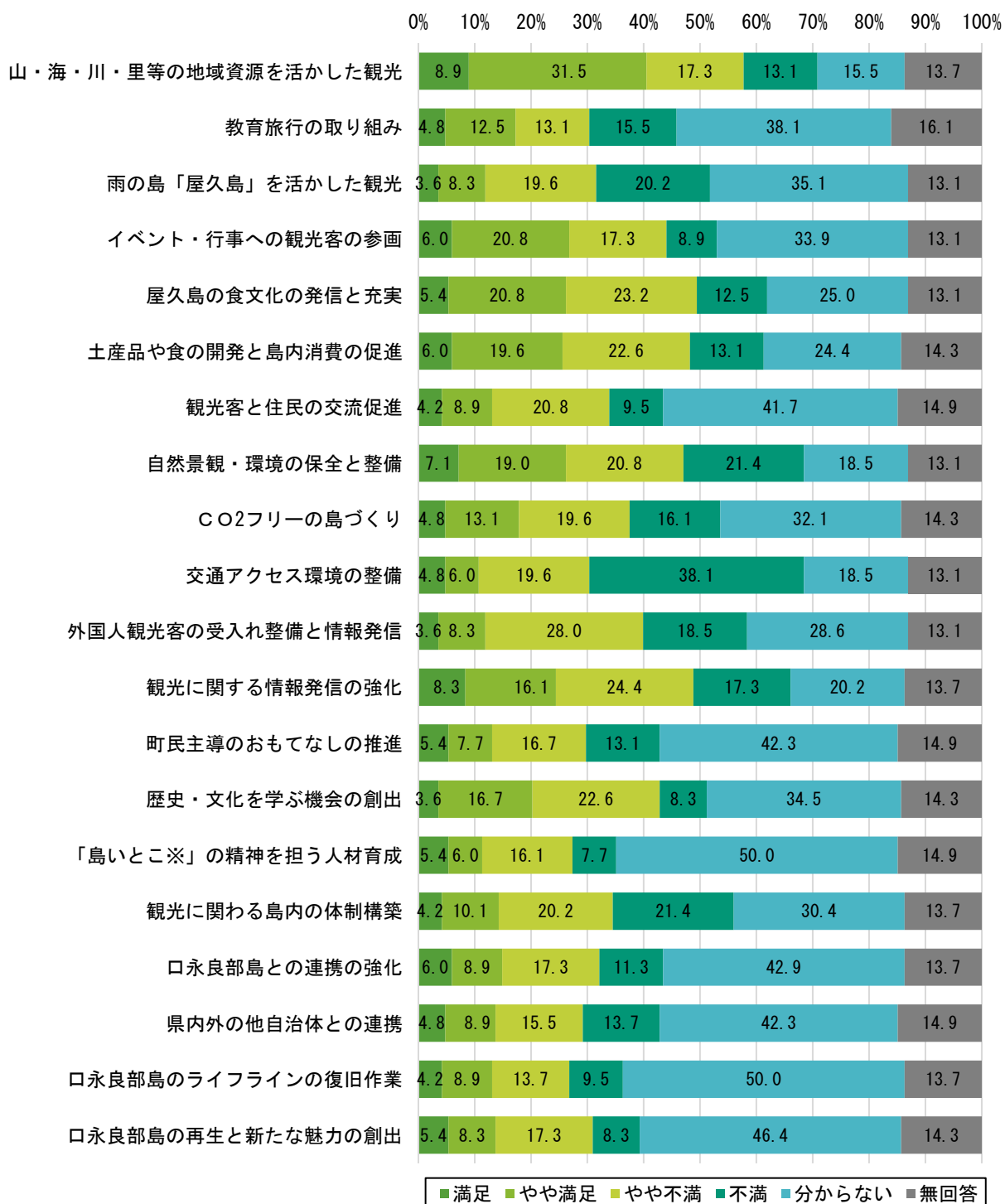
《操業年数別》



観光基本計画の満足度と重要度

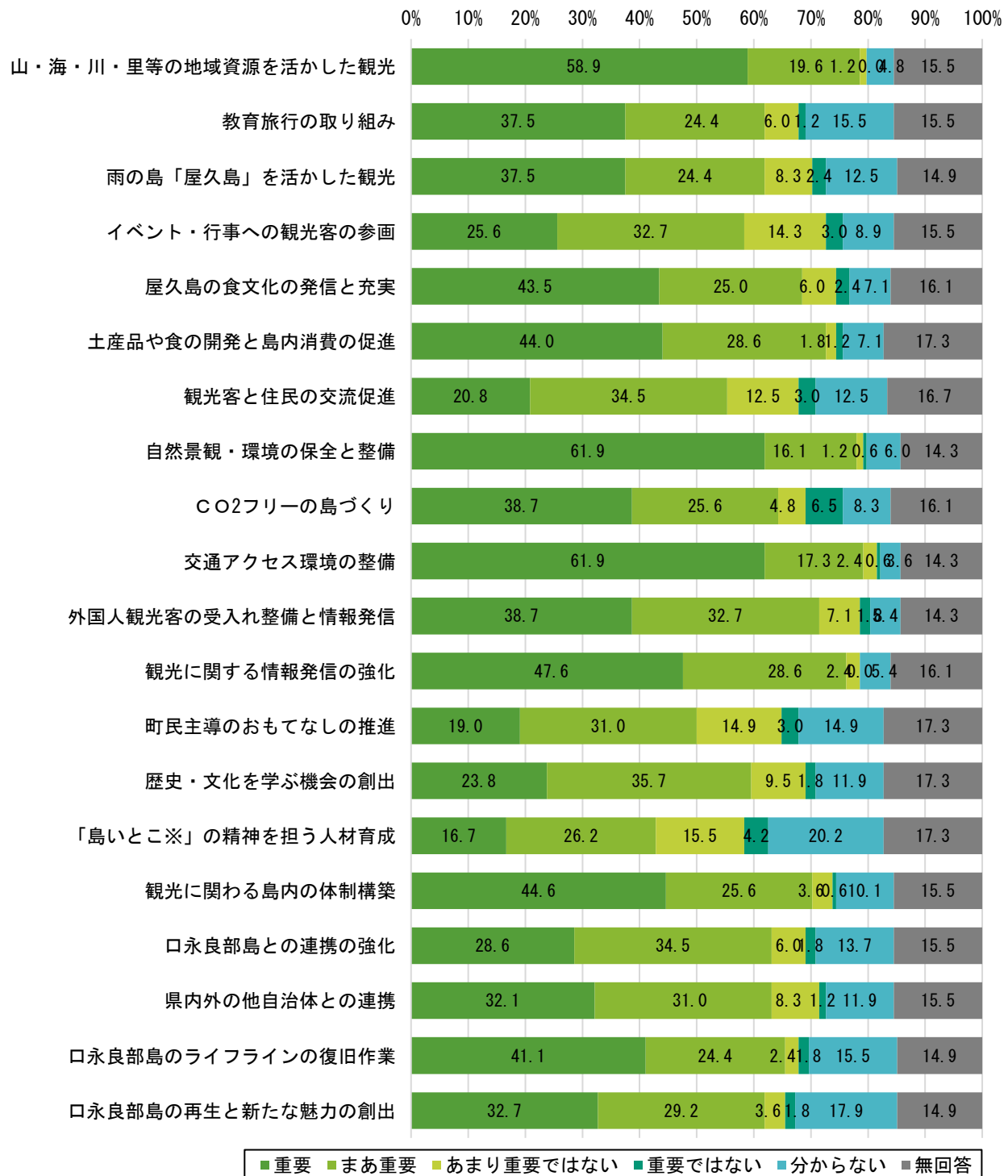
《満足度》

- ・満足度（満足＋やや満足）は、「山・海・川・里等の地域資源を活かした観光」が40.4%と最も高く、次いで「イベント・行事への観光客の参画」が26.8%、「屋久島の食文化の発信と充実」「自然景観・環境の保全と整備」が26.2%となっている。
- ・不満足度（やや不満＋不満）は、「交通アクセス環境の整備」が57.7%と最も高く、次いで「外国人観光客の受入れ整備と情報発信」が46.5%、「自然景観・環境の保全と整備」が42.2%、「観光に関する情報発信の強化」が41.7%となっている。



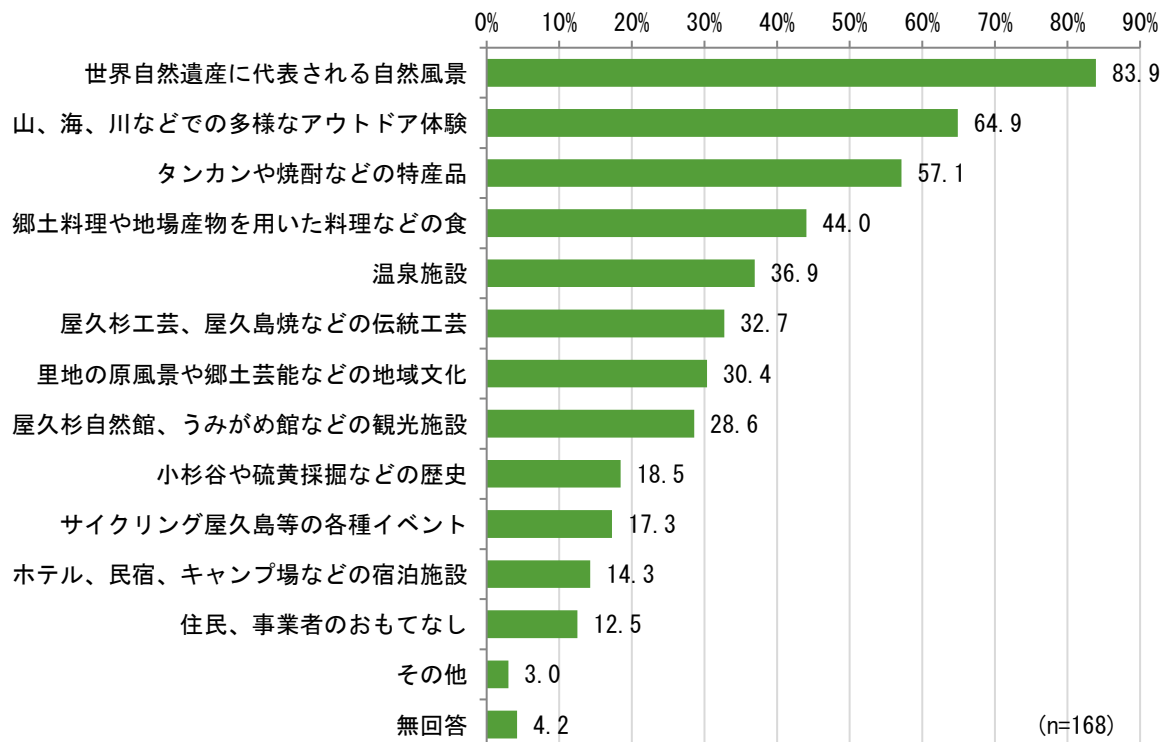
《重要度》

・重要度（重要＋まあ重要）は、「交通アクセス環境の整備」が79.2%と最も高く、次いで「山・海・川・里等の地域資源を活かした観光」が78.5%、「自然景観・環境の保全と整備」が78.0%となっている。



観光客におすすめするもの

- ・観光客におすすめするものとして、「世界自然遺産に代表される自然風景」が 83.9%と最も多く、次いで「山、海、川などでの多様なアウトドア体験」が 64.9%、「タンカンや焼酎などの特産品」が 57.1%となっている。

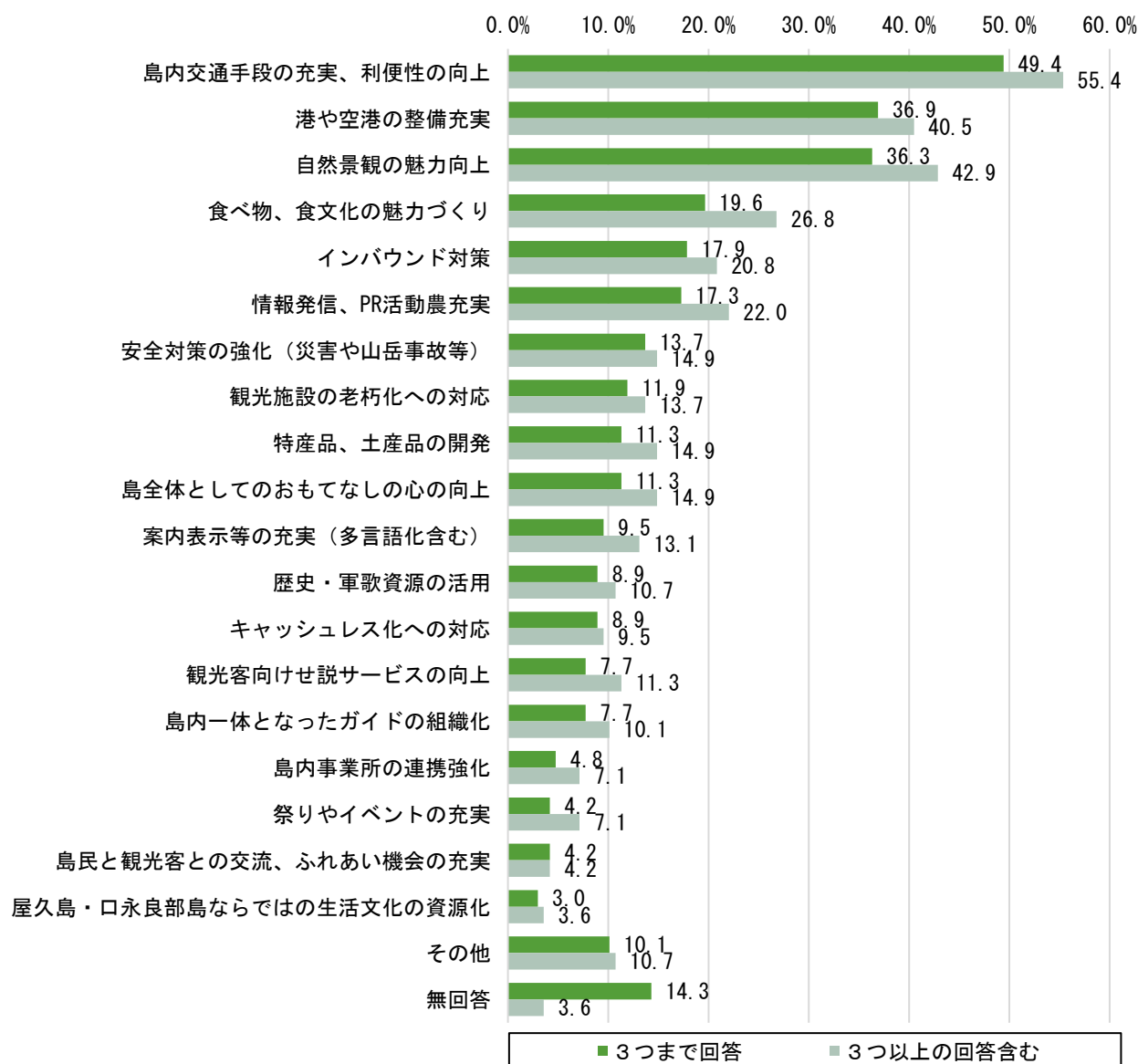


《その他》

- ・風水的なパワースポット、神社等の歴史
- ・屋久島の自然と共にあった「山に 10 日、海に 10 日、里に 10 日」という島らしい生活文化屋久憲章の存在を伝えます。
- ・島民、住民が島のことが好きだということ
- ・魚の種類が多くおいしい魚が多い、鯖、トビ魚以外の魚でもこなす

今後の観光振興のために重要なこと

・「島内交通手段の充実」が49.4%と最も多く、次いで「港や空港の整備充実」が36.9%、「自然景観の魅力向上」が36.3%となっている。



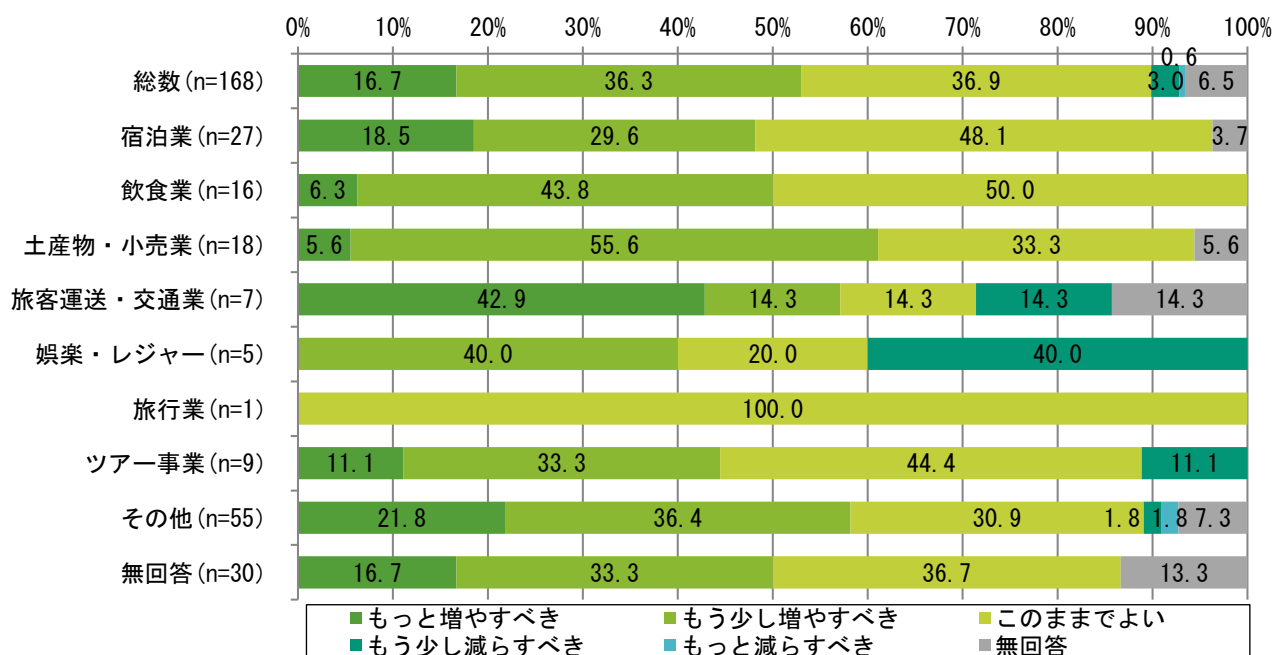
《その他》

- ・ 森林鉄道の復活（観光客用としての）
- ・ 森林浴のアピール（縄文杉だけが屋久島の杉ではない）
- ・ 活火山の島の一番は温泉です。使い良い温泉にしてゆきたいです。
- ・ 縄文杉ではないブランディング
- ・ 雨の日に過ごせる施設づくり、町民もお客さんも使える
- ・ 観光施設のユニバーサルデザイン
- ・ 宿と食事が出来る店
- ・ インバウンド案内所が必要
- ・ 短期滞在型旅行客の受け入れ
- ・ 雨対策、とい庇のある東屋を多く作って欲しい。
- ・ 島民自身が観光振興を含めた日常の暮らしそのものを心から楽しんでいるかどうか
- ・ 観光に対する考え方のすべての業種とジャンルに共通する大きな柱（例：環境と共生）
- ・ 屋久島憲章の発信及びそれを具現化するプロジェクトの発信
- ・ 町役場、民間が共に、たて割りではなく自分事として島の観光を考える。
- ・ 本土との船航路の拡大
- ・ 貨物船の増便と安定運航のしくみ
- ・ フェリー屋久島Ⅱに代表される交通手段の充実
- ・ 環境保全
- ・ 1. 自然景観の魅力向上でなく維持
- ・ 海外の方が、島内での情報（バスの時刻表やレンタカーの借り方、登山について等）検索したときに上位に出てこず、探しづらそうなのでSEO対策がんばっていただきたいです。

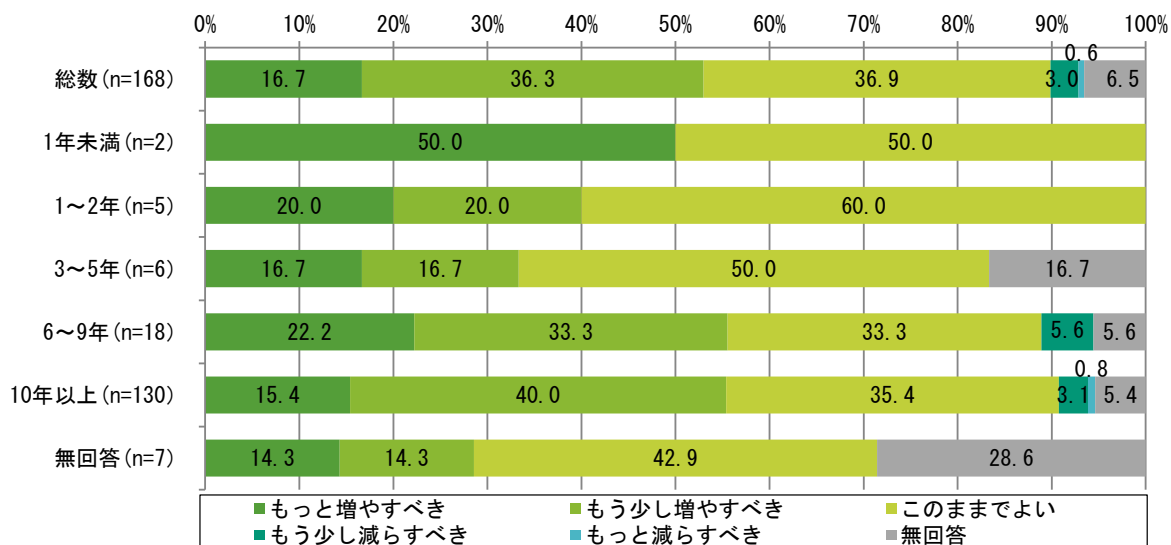
観光客数について

- ・「このままでよい」が36.9%と最も高く、次いで「もう少し増やすべき」が36.3%、「もっと増やすべき」が16.7%となっている。「減らすべき（もう少し減らすべき＋もっと減らすべき）」と回答した割合は3.6%となっている。
- ・旅客運送・交通業では「もっと増やすべき」が42.9%と他の業種と比較して高い。一方で、「もう少し減らすべき」という回答も14.3%となっている。娯楽・レジャーでは「もう少し減らすべき」が40.0%となっている。
- ・操業年数別では、大きな違いは見られない。

《業種別》

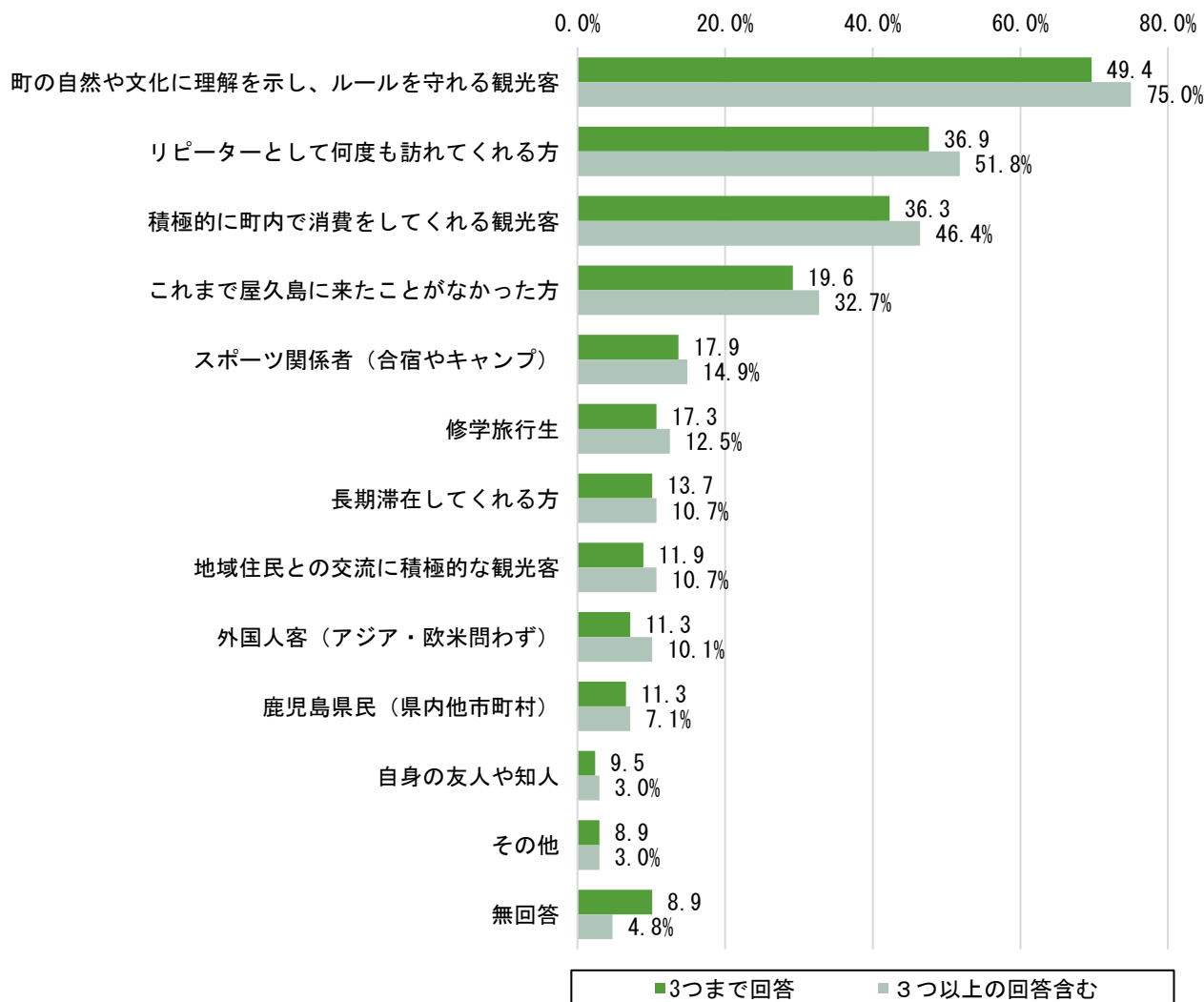


《操業年数別》



どのような観光客に来訪してほしいか

- ・「町の自然や文化に理解を示し、ルールを守れる観光客」が 49.4%と最も多く、次いで「リピーターとして何度も訪れてくれる方」が 36.9%、「積極的に町内で消費をしてくれる観光客」が 36.3%となっている。

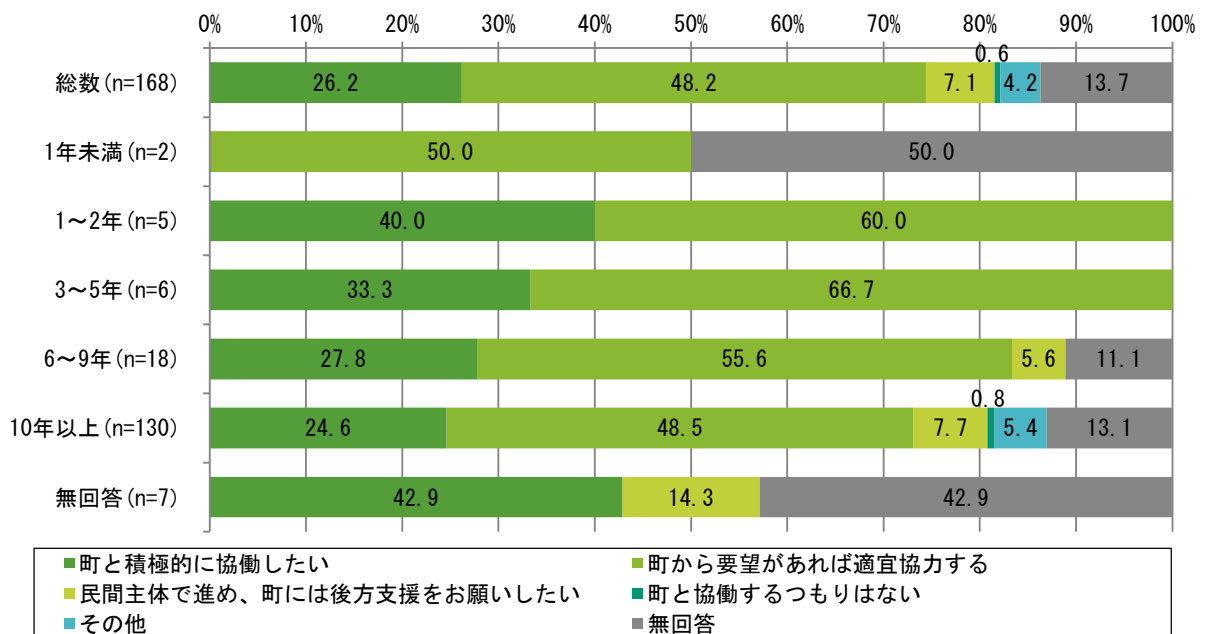
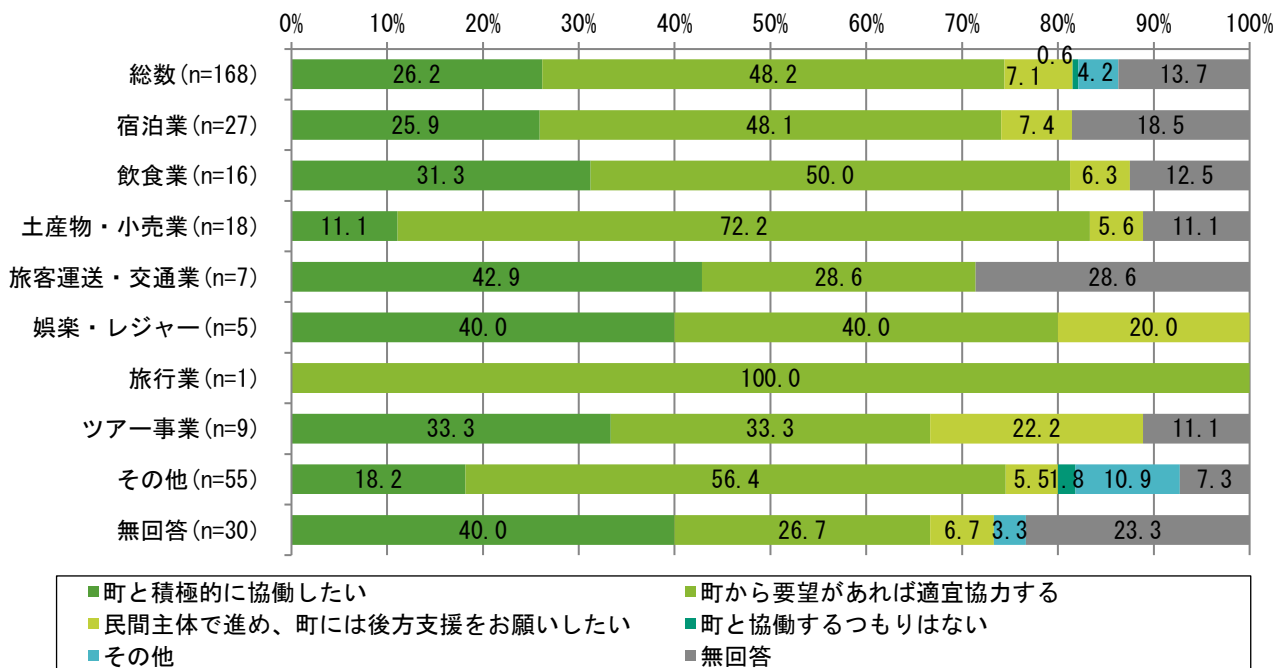


《その他》

- ・旅行に対するモチベーションが高い観光客
- ・島からのクオリティーの高い発信をして量より質の観光客を受け入れたい
- ・11. 外国人客の欧米に○
- ・訪れた後に屋久島を発信してくれる方
- ・C O 2フリーの島づくりを推進した上での、研究者と実業家、企業等
- ・企業研修
- ・細く長く！

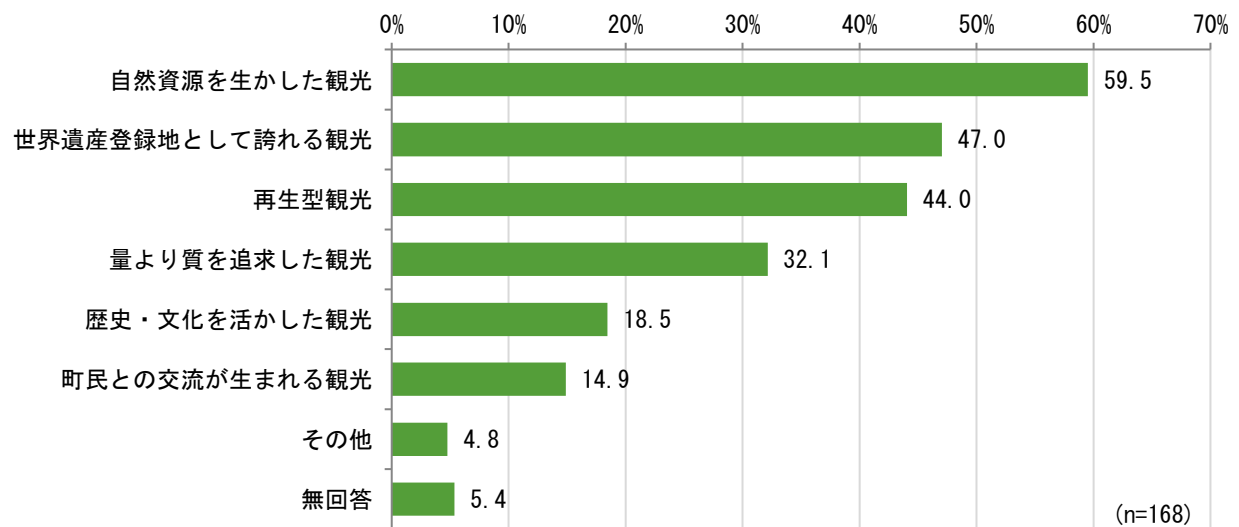
観光振興への協働意向

- ・「町から要望があれば適宜協力する」が48.2%と最も多く、次いで「町と積極的に協働したい」が26.2%、「町には後方支援をお願いしたい」が7.1%となっている。
- ・業種別では、「旅客運送・交通業」「娯楽・レジャー」等が比較的協働意向が高い。
- ・操業年数別では、年数が短いほど協働意向が高い傾向となっている。



屋久島町が目指すべきキーワード

・「自然資源を活かした観光」が 59.5%と最も多く、次いで「世界自然遺産として誇れる観光」が 47.0%、「再生型観光」が 44.0%となっている。



《その他》

- ・屋久島憲章を軸にすえた島のビジョンを実現する観光へ、訪れたくなる島からさらに暮らしたくなる島へと結び付けてゆく。
- ・世界遺産地域を広げたい（白谷やランド、ウィルソン株周辺なども）
- ・観光客が不便な思いをしない観光
- ・自然共存する島
- ・責任ある観光！
- ・来島して欲しい観光客のターゲット絞り込み
- ・移住者を増やす観光
- ・町内で特定の場所に集中投資で観光特区を作って動線を管理し、地元の観光業にまんべんなく雇用を生む観光

観光客からの意見や要望

《交通手段》

- ・ 島内の交通手段（バス・タクシー）が無さすぎて不便。特に飛行機の最終便で到着後、移動手段がない。（フライトが遅延になった時など、特に。）
- ・ 夜のタクシーがない為、宿泊先から飲食に出かけられない。交通手段がない事を島に来てから知る方が多いです!!!
- ・ 交通の便が悪い、夜の交通アクセスが無い。
- ・ 自然災害（台風）による交通手段の影響
- ・ 交通（価格含む）充実
- ・ 交通の便（公共バス、タクシーの増便）
- ・ 交通が不便・島外者との連携に積極的ではない。何でもすぐに外注する体質が見られる。
- ・ タクシー不足
- ・ タクシー、バス等の交通の便の悪さ
- ・ タクシーがつかまらない（特に夜）
- ・ タクシー、予約を断られる。
- ・ レンタカー不足
- ・ 繁忙期はレンタカーが足りない。
- ・ レンタカー以外の交通の便が少ない
- ・ タクシーの利用が難しい
- ・ バスなどの公共交通機関の不便さ
- ・ バスの本数が少ない。最終時刻が早過ぎる。
- ・ バスの料金が安い
- ・ バスが分かりづらい
- ・ 交通費（船、飛行機など）が高いと言います。
- ・ 高速船や飛行機が取れない、高い。
- ・ 飛行機とバスの連携が悪い
- ・ 空港は今のままで良い
- ・ 移動手段がとぼしい。レンタカーがないとバスでは本数が少ないので難しくタクシーも少ない。周遊小型バスでお客様のフットワークを軽くしてください。
- ・ フェリーが不足
- ・ 船、バス、タクシーなど一部業者だけでなく、自由に新規参入できるようにしてほしい。
- ・ 最終飛行機 18：30、最終バス 18：45、飛行機が遅れた時バスがない、タクシーも来ないので困る観光客が多い
- ・ 航空の交通
- ・ 東京からの直行便
- ・ L C Cはいらない
- ・ 鹿児島から屋久島までの交通機関が高額。
- ・ Y a k u s h i m a b u s で検索したら出てくるHP、現在町のHPがトップにあるので、せめてどうやったら時刻表などが確認できるか、URLを貼ったりして誘導して頂きたいです。また、

各バス会社様、古い時刻表は削除して頂きたいです。全然正しい情報にたどり着けません。また可能であればG o o g l e m a pにバス停表示できるようになれば、皆さんとても分かりやすくなるし助かると思うのですが…もし可能でしたらで!!!観光地に行く時、降りるバス停が分からないとの声があるため。

《観光スポットへの移動の課題（交通手段・案内板等）》

- ・ 県道から海岸に行ける道 スキューバーダイビングのため
- ・ 中間ガジュマルから公民館までのトイレの標識がわかりづらいそうです
- ・ 大川の滝に行くバスが少ない。
- ・ 海中温泉に行き易くなるよう全てのバスを栗生橋までにして欲しい。
- ・ 夏に夕陽が観られるように永田行きのバスの最終便の時間を考えて欲しい。
- ・ 宮之浦に観光案内所がないことに対する不満
- ・ レンタカー、カーナビを利用し観光しているようですが、看板や目印が分かりにくいいため急停車したり事故につながったりする事があると聞いています。
- ・ 島内を巡回するバス等の移動手段の充実（雨天時や夕方以降特に）
- ・ サービス業が多いのに観光客の移動手段が特に夜がなさすぎてお客様もとても困っている。（タクシーが捕まらない）雨で山に行けない時の案内、提案が少ない
- ・ 観光案内所を宮之浦港に作ってほしい。
- ・ 平内の温泉を整備して欲しい
- ・ 離島時に着替えやシャワー等があるとよい（下山寺）。まんでんは 15:00 からなので時間が合わないケースが多い。島内交通の不便さ解消。

《道路の整備》

- ・ 道路の整備 歩道が歩けない、宮之浦大橋の旧橋が渡れない
- ・ 永田登山入口からの整備
- ・ 県道が悪い

《施設や設備》

- ・ 公衆トイレの増設、案内板などの設置
- ・ 屋久島は山のトイレにもっと投資した方がいい
- ・ 「トイレがどこにあるの？」と聞かれます。港や空港で公共トイレマップを配布し、分かりやすい看板を設置するなどしていけるといいかなあとします。
- ・ 場所が分かりにくいと言われるが、県道沿いに看板を立てる事へのハードルが高い。（土地の所有者の許可や、県の土地で立てられない）
- ・ ゴミ箱がない

《A T M》

- ・ 銀行、郵便局の金融機関が見つけにくい。せめて空港や港に A T M がほしい
- ・ 現金が下ろす場所がない。A T M不足。
- ・ A T Mの充実、外国のカードに対応するもの

《景観》

- ・ 町の景観が悪い（看板、電柱等）
- ・ ヤクスギランドなど自然（圧倒的な）が良いのにアートの看板を置いたりしない方が良さそうです。

《飲食店等の店舗》

- ・ 飲食店の同時休業。食事処の定休日がかぶらないようにしてほしい。不定休すぎる。
- ・ 飲食店が少ない。場所がわからない。交通手段も少ない。
- ・ 夕食に困っている方が多い印象、予約が取れない。レンタカーも予約をしにくく、バスもタクシーも使いにくい。食事後に帰る方法がない、など。
- ・ レストランが予約で入れない。
- ・ 場所（地域によって）まったく店（食事処）がないこと
- ・ 駐車場が少なく周辺の店を回れない。移動手段が少ない上にレンタカーやタクシーも確保しづらい。夜の代行サービスが欲しい。ネットで調べても情報が少ない。
- ・ ランチが少ない。コンビニがない。宿が少ない。
- ・ バーやスナックなどの店があることを知らなかったと言われる。知っていたら、そのような店に行く予定を立てたりできると思う。山などの自然だけでなく、まち歩きの魅力や消費をうながすような取りくみが必要。
- ・ 食の質を上げてほしい
- ・ 普通の食べ物が食べたい。どこ行っても、たんかん、とびうおでウンザリしていますって良く聞きます。
- ・ 観光客にとって優しくない（飲食店がどこも営業してなくて食事に困る）自然は素晴らしいが、里エリアでは、必ずしも観光に優しいとは言えない（ゴミが落ちている、バスの排気ガス等）
- ・ カードが使える店が少ない。
- ・ キャッシュレス、カード決済ができない（ぽんたん館）

《雨天時・オフシーズンの課題》

- ・ オフシーズンの観光（冬場は本当にどこもいけないのか？）
- ・ 登山が中止になった際のアクティビティーがない。子供が楽しめるアクティビティーが不足している。
- ・ 雨の日に観光出来る場所が少ない。
- ・ 大雨が降った時に過ごせる場所、からだを動かせる場所がない
- ・ 悪天候の日に行ける場所が少ない。悪天候でツアーが行えなかった場合に出来るツアー（常に使える室内でのさまざまなワークショップなどあれば）
- ・ 口永良部島の不便ではあるがゆったりとした時間を楽しまれる方が多い。スコールのような大雨もテラスで眺めすごしたり「雨ってこんなに降るんだね」とか二重に出た虹に感動したり、景色を見ながらヨガをしたり、フラを踊られたり、お客様がくつろいで楽しまれているのは宿主としても大変うれしい。

《屋久島らしさ》

- ・ 屋久島らしい変わらぬ姿
- ・ 島全体が世界遺産なのかと思っていました、とよく言われます

《外国からの観光客》

- ・ コミュニケーションをとれる人が少ない（海外の方）
- ・ トッピーの予約システムに外国語がない。このため外国人に不便をかけるだけでなく宿への問い合わせや予約代行依頼が多く困っている。

- ・交通機関の欠航等で、外国の方が困った際に対応できるアプリ表示や、外国人が多くなる中、タクシーがなくて困っている場面をよく見かけます。わかりやすいその他いろいろと案内のできるしくみをすぐ取り入れてほしい。
- ・安房に来島した観光客への対応を何とかしてほしい。特に最終便で安房についた日本語を話せない、wifiを持たないような人は途方に暮れる。
- ・海外からのお客様が多く、コミュニケーション方法として基本的に英語を学ぶ機会となる。よりよいサービスとしての提供は努力しなければならないと日々考えています。

《その他》

- ・協力金が何かと多過ぎる。一元管理でまとめて欲しい
- ・屋久島に移住を希望するが、空家がたくさんあるにもかかわらず、貸したり売ったりしてもらえないこと
- ・混雑して欲しくない
- ・一度は来てみたかった所
- ・朝の放送エーデルワイスが非常にうるさくリラックスできない。起きてしまう。(予約サイトのレビューに多くの宿が書かれ点数が下がっている。
- ・物価が高いと言われます。
- ・屋久島高校の労働力の島外放出
- ・直接的にふれ合う機会がありません
- ・リピーターさんから「住める家はないか」とよく聞かれます。
- ・屋久島をPRする組織力、インバウンドへの対策対応力が足りてないと思います。
- ・観光客の声よりも町がこれからどうありたいのかのビジョンが重要だと思います

今後の展開や取組意向、また観光振興に関するご意見、ご要望、ご提案等

- ・最近交通事故等が増えているように思います。自分が運転していても危ないと思うこともあります。観光地、あと 50m 右とか標識があったらわかりやすいと思います。
- ・7 部屋のみのちっぽけな宿を一人でやっています。